

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成30年3月24日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4677500094
法人名	医療法人 おさしお会
事業所名	グループホームきらら
所在地	鹿屋市吾平町麓3766番地1 (電話) 0994-58-5859
自己評価作成日	平成30年2月6日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	平成30年3月6日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当ホームは、老人保健施設、通所リハビリテーション、認知症対応型通所介護の事業所と隣接しておりますので、ご利用者の状態の変化や意向によるサービス提供方法を専門職からの意見や助言が得られる環境にあります。ホーム内の生活においては、ご利用者の持っている力が発揮できるよう、「できる喜び、できた喜び」を大切にしております。健康管理では、月2回の訪問診療で主治医や看護師との連携を図り、体調の変化に早期に対応できるよう努めています。皆様が喜ばれる行事として、誕生会や運動会、ホテルでの食事会、鹿児島水族館の見学等、季節に応じた行事を企画しています。また、家族会も併せて開催することで、ご家族の皆様も、よりご利用者の様子が分かる時間となっています。地域の方との交流として、保育園の園児さんや小学生のボランティア体験、高校生の実習活動では、いつも以上にご利用者の笑顔が多くみられています。また、町内の奉仕作業への参加や定期的に行われる地域運営推進会議では、地域の皆様からの貴重な情報や助言をいただき、参考にさせて頂いております。まだまだ力不足で、ご利用者の皆様にはご迷惑をかけているところもありますが、少しでも不快を取り除くサービスが提供できるようスタッフ一丸となって取り組んでいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- 当事業所は、母体医療機関や特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、デイケアなどの介護サービス事業所が併設された2ユニットのグループホームで法人全体で地域福祉の拠点としての役割を果たしている。
- 自治会に加入し、年末の地域の奉仕作業への協力や総会に出席したり地域交流活動への参加を積極的に実施するなどしている。また、毎年、地域文化祭に利用者の作品を出展し、家族や職員と見学に行ったり小学校の運動会へ参加し交流を図っている。事業所は、中学生の職場体験や高校生や看護学生を学習の一環で受け入れたり、ボランティア活動やひょうたん作りを通じて地域と繋がり、もち米などの差し入れをいただくなどして日常的に交流している。
- 家族会があり、年2回家族交流会を開催している。会議は、家族だけで話し合いの機会を設けたり、家族向けアンケート調査を年1回実施しサービス向上や業務の見直しに繋げている。管理者は、利用者と家族の絆が途切れることがないように取り組むとともに、職員と家族との親睦を深め事業所の良好な運営を検討するため運営推進会議への家族の参加を勧める予定である。
- 管理者は、毎月の職員会議前にはセクション会議を開催、ミーティングファイルを活用して、職員からの意見・提案を聞くようにしている。子育て世代など働き世代が多く職員の定着率も良好な職場環境である。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念は、いつでも確認できる場所に掲示しています。ご利用者皆様の、「その人らしい」人生が少しでも送れるよう努めています。	共有スペースに利用者の直筆の温かみのある理念が掲示されている。理念は、自立した生活の実現や本人の気持ちに寄り添い共感し、利用者を受け止めながら共に生活していくといったものでミーティングや職員会議などで触れるようにしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内の文化祭の見学や地域の奉仕活動への参加、小学校の運動会に参加し交流を行っています。	町内会に加入し、地域の総会や年末の清掃活動に参加したり、ひょうたん作りや地域の方々との食事会、小学校や中学性の職場体験、高校生の実習受け入れ、また、看護学生の教育課程への協力など地域貢献に力を入れている。地域との関係性も良くもち米等を差し入れていただくこともある。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	学生の方の職場体験やボランティア活動時に認知症についての話や模擬体験をして頂いています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回の運営推進会議では、利用者の方や職員の状況報告、介護度、ヒヤリハット報告を行い、貴重な意見や助言を頂き、サービス向上に活かしています。	家族代表は、両ユニットで1名と参加が少ないが、交代で会議に参加している。利用者の暮らしぶりや事業所の取組状況を報告したり、地域の課題などをともに考え意見交換して、出された意見を職員会議などで話し合いサービス向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市が開催する研修会等への参加や判断に迷う事案等、来庁や電話でやりとりを行い、協力関係を築けるように努めています。	市担当者や福祉事務所職員との協力体制があり、地域包括センターとの連携による、徘徊模擬訓練に参加している。また、市主催の研修会や地域ケア会議へ参加するなど協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修会や勉強会を行い、具体的な種類や方法を確認し、身体拘束をしないケアに取り組んでいます。	法人の身体拘束委員会での活動があり、年2回程度は、身体拘束や高齢者虐待防止に関する勉強会に参加している。センサーを活用しているが、利用者と行動を共にするためのものとして考えており、使用目的を明確にしている。落ち着きがなく焦燥感がある方もおられるが、コミュニケーションを取りながら気持ちが落ちつくまで自然に寄り添い本人本位にケアしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修会や勉強会を行い、具体的な種類や方法を確認しています。「介護虐待防止」の内容を更衣室に掲示し提供開始前に確認し防止に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	制度についての学ぶ機会を持ち、活動できるよう取り組んでいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所契約や重要事項説明書、利用料金の説明を行い同意を頂いています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情窓口を表示し設置しています。家族会では、スタッフは退席しての会議やアンケートを実施しています。利用者の方からは会話や行動を通して確認を行い、反映しています。	年1回、家族向けのアンケートを実施し、今後の事業所の取り組みについての詳細や集計結果は、家族に送付している。利用者からは、日常会話を通じて意見や要望を把握しケアに反映させている。また、家族会では、家族だけで話し合いをする時間を設けるなど工夫がありサービスの向上に繋げている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	セクション会議やミーティングファイルを活用しています。併設事業所との管理者会議で意見や提案を聞く機会を設け、反映できるよう努めています。	月1回、職員会議の前に処遇会議を開催しており、職員から意見や提案を聞く機会を設け、出された意見は運営に反映している。40代・50代の職員が多く、職場環境も良好である。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	リフレッシュが少しでも図れるよう希望公休や有休取得、必要時の勤務交代がしやすい環境に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部・内部研修に1人でも多く参加できるよう努めています。また研修会終了後は、レポートにまとめ報告を行い、情報の共有に努めています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>研修会や交流会の参加により、情報交換を行っています。得られた情報で質の向上につなげています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族や関連事業所からの情報提供とご利用者が発信して下さる言葉や表情、言動により、少しでも気持ちを受信することで良好な関係を築くことができるよう努めています。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>不安な気持ちや意向等を丁寧に確認するように努めています。また、入居間もない場合は定期的にご家族に連絡し、状況が少しでも伝わるよう努めています。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ご本人、ご家族から得られた大切な情報を元に、スタッフ間で優先順位の検討。先ずは、不快感の軽減に努めています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>洗濯物をたたんだり、居室やホール掃除等、できることをスタッフと一緒にして頂いています。一緒に行くことで良好な関係づくりに努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会や家族会の際にホームでの状況を報告しています。これまで体験したことを生活に活かして、ご家族と一緒にご本人を支えていく関係づくりに努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域行事の文化祭への参加や併設事業が開催する行事に参加し、馴染みの方や知人の方との交流に努めています。また、ドライブ等の外出時は自宅付近や懐かしいと感じられる場所を通るようにしています。	家族とつながり保持のため携帯電話を活用し、また個々の墓参りは家族に協力をもらっている。デイケアを利用される地域の方々との交流し、地元の方が多いため近隣の公園は馴染みの場所になっている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	体操やレクリエーション等へは可能限り参加を促し、利用者間の交流を促しています。意思の疎通が図りにくい方には、スタッフと一緒に行うことで関わりが持っています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院された方や他事業所へ転居された方への面会や電話連絡で様子を確認しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	定期的や必要時に行っている面接や日常の中で発信して下さるメッセージを大切にしています。また、事業所で困難と判断された場合は家族に協力を頂いています。	意志表示が困難方などは、何気ない言葉のやり取りや表情、日々の暮らしぶりなどから本人の思いを汲み取り、本人らしい生活の目標達成に向けて取り組むとともに職員や家族と情報を共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人やご家族より、これまで頑張ってきた物語を確認しています。また、担当のケアマネジャーからの情報収集も併せて行い、把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	本日の日課や流れをお伝えし、体調や気分に合わせて参加を促しています。できている力が継続できるよう努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人やご家族からの意向や目標の達成状況を確認し、できるだけ具体的な援助方法を検討しています。力が安全に発揮できるよう努めています。	本人、家族の思いや意向を踏まえアセスメントやモニタリングの結果を介護計画には反映させている。また、計画内容を家族向けに要約しわかりやすく説明している。6ヶ月1回モニタリングし、必要に応じて見直しをしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	変化や様子を毎日介護経過に記録し、必要な情報はミーティングノートに記載し職員間で情報は共有できるよう努めています。提供した状況を踏まえて介護計画の見直しを行っています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	新規のニーズについては、職員間で検討を行っています。困難な場合や判断が難しい状況のときは、併設事業所の専門職からの助言やご家族からのアドバイスを頂いています。その方に合ったサービスを提供できるよう努めています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の生徒さんや併設事業所の皆さんとの交流、文化祭の参加等により、楽しく充実した時間を過ごされています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	母体医療機関がかかりつけ医で、月2回の訪問診療を中心に常時連携が図れる体制を整備しています。ご本人、ご家族の希望時は主治医に相談し、他科受診を行っています。	母体の医療機関との24時間医療体制が取れており、隔週訪問診療、他科受診に対応し適切な医療が受けられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>ご利用者に変化があった場合は、併設事業所の看護師への相談や母体医療機関の看護師に報告し適切な受診や医療が受けられるよう努めています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>医療機関への情報提供や定期的に窓口の担当の方と連絡、相談を行いご本人、ご家族が安心して入院することができるよう努めています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化や終末期については、入居前もしくは入居時に指針を元に説明を行っています。状態の変化や重度化となった場合は、主治医、ご家族を交えて話し合いを行っています。当ホームでは看取りは行っておりません。併設事業所への案内も含め、検討しています。</p>	<p>契約時、「重度化対応体制に係る指針」にてホームの対応について説明し同意をいただきながら、段階に応じて本人、家族、主治医等関係機関と十分に話し合い、意志確認は、個人シートに記録を残している。また、利用者の望む暮らしの実現に向けてチームケアにて取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>マニュアルを元に緊急時の対応のシュミレーションを行っています。また、救急搬送に備えて救急隊への提供カードを作成しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的な自主訓練と併設事業所との合同訓練を行っています。特に初動動作やスタッフ間の連携を図り、1秒でも早くご利用者の避難誘導を完了することができるよう努めています。</p>	<p>年1回消防署立ち合いにて、避難訓練を実施している。また、定期的に通報訓練などの自主訓練を実施、防災グッズや備蓄がある。隣接の老人保健施設との合同訓練や地域の協力体制があり、近々に地域住民が参加し具体的に役割分担を決める等訓練を実施する予定である。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご本人やご家族から頂いた情報のなかにある誇りや頑張ってきたことをスタッフ間で共有しています。また、勉強会等でスタッフの意識の統一を図っています。	職員は、利用者一人ひとりの人格を尊重し、丁寧な言葉かけやプライバシーに配慮したケアに取り組むとともに、定期的に勉強会を実施し、自己研鑽している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	質問や声かけには、「はい・いいえ」で答えやすいように声かけの工夫を行っており、言語での意思の疎通が難しい方は表情や仕草からくみ取ることができるよう努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	毎朝体調の確認を行い、その日その日が皆様のペースで過ごすことができるよう努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	衣類は毎回選定し、お気に入りのバッグやアクセサリーを身につけて頂いています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節ごとの行事食やモニタリング時に嗜好や食事の感想を確認しています。食事形態や内容は、その方の状態に応じたものを提供しています。ご利用者の皆様には食事前後の準備や後片付けの協力を頂いています。	ミキサー食、刻み食など食事形態を工夫し、嚥下しやすく食事が楽しめるよう調理を工夫している。家族からお菓子等の差し入れがある。季節に応じた行事食もあり、年2回外食を楽しんだり、能力に応じて食事の準備や配膳、下膳などを手伝って下さる方がおられる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	疾病や機能等によって、食事内容や形態、援助方法を検討し提供しています。摂取量と排泄状況、体重の増減にも十分注意しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	義歯や残歯の状態、その方の力によって支援を行っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	皆様の排泄状況を確認し、その方に合ったパットの種類や案内を行っています。トイレでの排泄動作が身体等に影響していないか適宜検討しています。	排泄のリズムを把握し、声かけや誘導を行いなるべくトイレで排泄できるよう支援している。布下着の方も多く、尿取りパットは個々に適した種類を選び、水分補給や便秘予防に配慮し排泄の自立支援を実践している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分補給の確保のために、お茶の際の声かけや提供方法を工夫しています。運動では、定時の体操や屋外の散歩を取入れています。また、排便については毎日確認を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は週3回提供していますが、希望や必要時には実施しています。ゆっくりと入って頂けるよう午前中から1対1の入浴を提供しています。	入浴の順番は平等性に配慮しているが、曜日や回数など本人の希望や必要性に応じて柔軟に対応している。体調不良時は、足浴を実施し保清が維持できるよう取り組んでいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日課後の声かけ、案内やその時の状態や気分によって、テレビの観賞やホールで過ごされています。また、睡眠の状況をスタッフ間で共有することで、身体への影響についても配慮しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	必要時には、お薬の内容を伝え吞んで頂いています。また、提供時はスタッフ2人で薬とご利用者の氏名を確認しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	毎月の行事の開催や創作活動、レクリエーション等により充実した時間となるよう努めています。また、床掃除や洗濯物たたみ等のお仕事をお願いしています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	屋外での活動を計画し外出の機会を設けています。その時の気分や意向により、安全に実施できると判断した場合は、随時外出支援を行っています。	日常は、ゴミ出しのついでに散歩を日課にしている方や利用者の体調や天候に合わせてドライブを楽しんでいる。また、行事計画を作成し、計画的に春秋の花見見物に行ったり、家族と外食に行くなど外出をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご本人より意向があれば、ご家族に相談し、お金を所持されています。併設事業所での売店でのご購入される方もいます。</p>			
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>希望や必要時には、ご家族への電話連絡やご家族からの電話取次の支援を行っています。</p>			
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>行事等の写真をホールに掲示、創作活動での作品やご自宅からの写真を居室に飾っています。ホール内での交流がしやすくなるよう状態や活動によって皆様の座席の調整を行っています。</p>	<p>玄関を入ると浴室、食堂、居室などへと共用の空間が広がっている。天井は高く採光もあり、対面式キッチンでテーブルや椅子、ソファの配置を工夫し、思い思いに居心地よく過ごせるよう配慮がされている。掃除が行き届いた清潔感のある空間である。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>馴染みの方との交流や活動がいつでもできるようソファやテーブルを調整することで、少しでも心地よく過ごすことができるよう努めています。</p>			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>これまで大切にされてきたものや安心できる私物については、ご家族に相談し、持ってきて頂いています。内容によっては、ご本人とよく相談し決定しています。</p>	<p>趣味の本や家族写真が持ち込まれ、折り紙のお雛様やぬり絵が掲示してある。馴染みの物を配置し居心地よく過ごせるよう工夫している。また、身体機能に合わせ手すりの設置や福祉用具を活用するなど転倒予防に配慮している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>居室の表示やご利用者が使用される場所に手すりを設置しています。また、ご本人の力が少しでも安全に発揮できるよう補助用具の選定においては、状況により併設事業所のPT・OTより助言を得ています。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない